

講義コード	25468009
担当者	松 本 有 一 教 授
研究題目	持続可能な社会のあり方（資源と環境の経済学）

わたしたちは毎日大量のものを消費し捨てています。「快適な生活」を送るために新製品を開発・生産し、古いものはどこかに捨てればよいと考えてきました。今は捨てる場所がない、燃やせば有害物質が発生するかもしれないということで、廃棄せずにどう再利用・リサイクルするのが重要な課題になっています。再利用やリサイクルは廃棄物問題だけではなくありません。わたしたちは再生不可能な資源を使うことによっていまの暮らしを成り立たせています。これらの資源には限りがあります。今のような資源の使い方を続けて行くことは出来ません。企業にも環境を考慮した経営や製品作りが求められています。化石燃料の大量使用で大気中の二酸化炭素濃度が上昇し、地球温暖化、気候変動（異常気象）が懸念されています。

このゼミの研究テーマは、一つは資源の問題、もう一つは廃棄の問題であり、さらにはそれらの間にあるわたしたちの生活の過程（生産と消費と廃棄の過程）を見直すということです。そこには地球環境問題ということで語られるさまざまな問題も入ってきます。また、地球温暖化問題に関する事柄も扱います。

2011年3月11日の東京電力福島第一原子力発電所の事故で、原子力発電廃絶を含めてエネルギー供給の将来への関心も高まっています。こういう問題に興味がある方も歓迎します。

研究演習入門（2年）では教科書（下記）を読んで行きます。期末レポート、休暇中の課題などで、読書レポートの提出もあります。

研究演習Ⅰ（3年）では、教科書（未定）を使って、資源問題、廃棄物問題、環境問題などへの理解を深めて行きます。同時に、インゼミ大会に向けてのグループ研究や各人の個別研究を進めていきます。

研究演習Ⅱ（4年）は卒業論文の作成に向けての個人研究発表が中心になります。

希望者は必ず「自己紹介文」を申込み期限までに、事務室に提出してください。A4サイズ用紙1枚で、書式は自由です。氏名、学生番号、メールアドレスを必ず記すこと。説明会は主に質問を受ける形で行います。説明会の時間帯であれば都合のよいときに来て頂ければ大丈夫です。

ゼミ開始までの課題や連絡事項：7月上旬に掲示で知らせます。

教科書：三橋規宏『環境経済入門（第4版）』（日経文庫、2013年）

ゼミの運営：ゼミが楽しいか、つまらないかは受講する皆さん次第です。ゼミを楽しくするためのゼミ生からの自発的な提案を望んでいます。

受け入れ条件		自己紹介文の提出（上記参照）
担当者のプロフィール	専攻	環境経済学、理論経済学
	現在の研究テーマ	社会の持続可能性、循環型社会、ピエロ・スラッフアの経済理論
	所属学会	環境経済・政策学会、廃棄物資源循環学会、エネルギー・資源学会、経済理論学会、経済学史学会、環境社会学会、環境法政策学会、生活経済学会、エントロピー学会